

パネルディスカッション「研究データ管理をスタートするための最大の課題は？」

ポジショントーク 地域連携機関の立場から

福井大学における 研究データ管理の現状と課題

2024年10月9日（水）

福井大学

情報企画課 清水 史子



福井大学の紹介

- 学部 : 4学部、4研究科
- 学生数 : 学部 : 4,026人、大学院 : 962人
- 教員 : 698 (附属学校含む)
- 職員 : 326 (事務局) + 1,183 (その他)

【文京キャンパス】

(本部所在地)

教育学部

国際地域学部

工学部

【敦賀キャンパス】

附属国際原子力

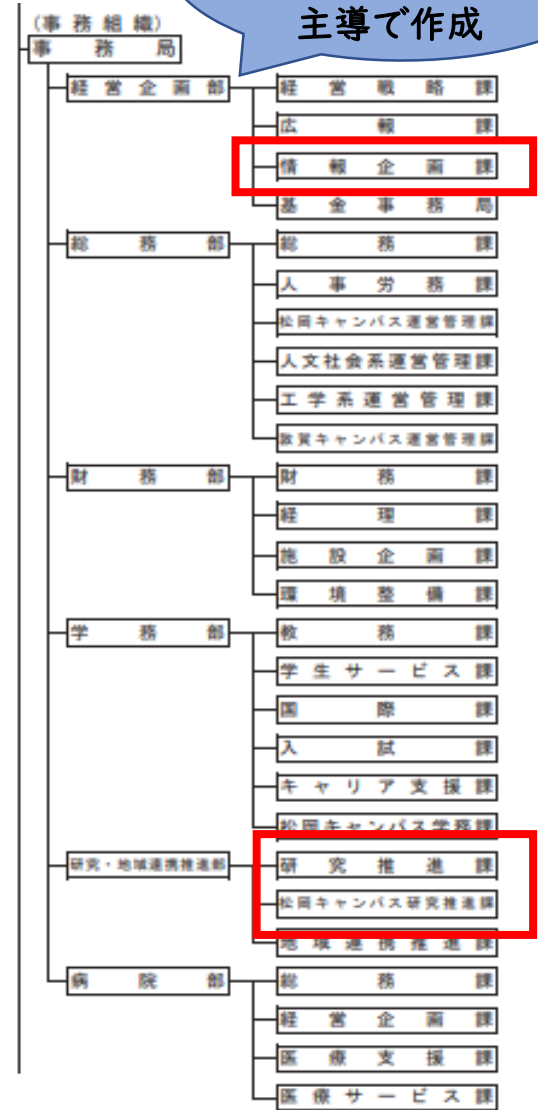
工学研究所

【松岡キャンパス】

医学部

→ コンパクトな大学の規模を活かし、学長のガバナンスの下、迅速な施策対応が可能

研究データポリシー等は
3課が協力して事務
主導で作成



1. 研究データポリシー制定に至る流れ：タイムライン

‘21年10月 大学ICT推進協議会(AXIES)から「大学における研究データポリシー策定のためのガイドライン」が公開。科研費の公募要領に「データマネジメントプラン(DMP)の作成を令和6年度科研費以降求める予定」と記載されることを把握した。

理事(研究、産学・社会連携、ダイバーシティ担当)に情報共有し、当面、情報企画課で情報収集する方針とした。

‘23年1月 具体的な目標や義務が明確になり、先行する大学の研究データポリシー等の公開により方向性が見えたため、理事(研究、産学・社会連携、ダイバーシティ担当)主導の下、関連部署(情報企画課、研究推進課、松岡キャンパス研究推進課)で協議を開始した。

ポリシー作成上の検討事項の洗い出し、他大学のポリシー等の比較を実施した。

併せて各学部教員に、研究データの具体的な管理方法等をヒアリングを実施した。

※研究分野によって、研究データの管理、公開等に関する考え方が違う。

→ ある程度、画一化したルールが必要 → 先行大学の例を参考に案を作成した。

‘23年6月 福井大学における研究データ管理・公開ポリシー(案)、解説(案)を作成し、研究力向上WGで各部局教員と意見交換した。

‘23年7月 「研究データ管理・公開ポリシー」及び「研究データ管理・公開ポリシーの解説」を制定した。

2. 研究データポリシー制定に至る流れ：他大学の比較

当時公開されていた国立大学12大学のポリシーを比較検討

	京都大学研究データ管理・公開ポリシー（2020年3月19日研究者情報整備委員会承認）	東北大学研究データ管理・公開ポリシー（令和3年12月9日総長裁定）	名古屋大学 学術データポリシー（令和2年10月20日教育研究評議会）	金沢大学学術データマネジメントポリシー（令和4年3月11日制定）	神戸大学 研究データ管理・公開ポリシー（令和4年7月21日教育研究評議会承認）
解説/ 補足/ 実施方針	AXIESガイドラインに則り、大学全体の方針をある程度詳細に策定。その上で各部署で運用等を検討。		大学全体の方針は最低限とし、各部署で詳細を検討。		大学全体の方針を学内規則との関係を含め、詳細に策定。
類似	東京工業大学の研究データポリシー（令和3年4月16日） 九州大学研究データ管理・公開ポリシー（令和5年3月16日） 信州大学研究データ管理・公開ポリシー（2023年3月15日）	佐賀大学研究データ管理・公開ポリシー（令和5年2月3日） 東京大学 研究データ管理・利活用ポリシー（令和5年2月22日）	国立大学法人群馬大学研究データポリシー（令和4年7月6日役員会決定） 愛媛大学研究データポリシー（令和5年3月8日）		

参考にする大学を決めた基準

- ・大学の規模 → 地方国立大学が望ましい
- ・今後の運用方針 → 各部署に詳細な取扱方針を作成させるのではなく、教員が判断できる基本的な基準をある程度詳細に示したい

神戸大学、群馬大学を参考に本学ポリシーを作成

3. 3つの観点からの課題

「福井大学研究データ管理・公開ポリシー」を制定したが、実効性の高いものにするためには、様々な課題が残されている。

- (1) 学内・組織内における研究データ管理の普及・浸透**
 - ・研究者への啓発活動
 - ・データマネジメントプランや研究データの具体的な管理方法
- (2) 地域における連携**
 - ・オープンアクセス加速化事業の連携機関としての参画
 - ・北陸研究基盤データコンソーシアムへの加入
- (3) 持続的な仕組みづくり**
 - ・研究データ公開に関する環境整備（機関リポジトリなど）
 - ・支援体制（専門人材の確保）など

4. オープンアクセス加速化事業

(共同申請) 金沢大学、金沢医科大学、福井大学
福井大学は、連携機関

(福井大学が実施する内容)

- オープンサイエンスプラットフォームの導入
 - 金沢大学が企画・開発、福井大学は共同開発
 - 期待
 - 研究データ管理にかかる運用の標準化
 - 課題やノウハウの共有（リスク管理など）
- Pureの導入
 - 研究情報を収集・管理・公開するシステム
 - 即時オープンアクセスへの対応